

2021年度 野外実習報告

—観察力・分析力の向上を目指して—

You see, but you do not observe. The distinction is clear.

「君は見ているが、観察していない。その違いは歴然だよ。」

by Sherlock Holmes (『ボヘミアの醜聞』より)

立山自然観察実習 (探究科学科 1 学年)

例年の野外実習は、2泊3日の能登臨海実習・1泊2日の立山自然観察実習のどちらかに参加するという形式で実施されますが、今年度はコロナ禍ということで、全員が日帰りの立山自然観察実習に参加しました。朝7時に学校に集合して、17時に帰校。ハードな日程でしたが、班員と協力してブナ林を調査したり、高山植物を観察したりしました。



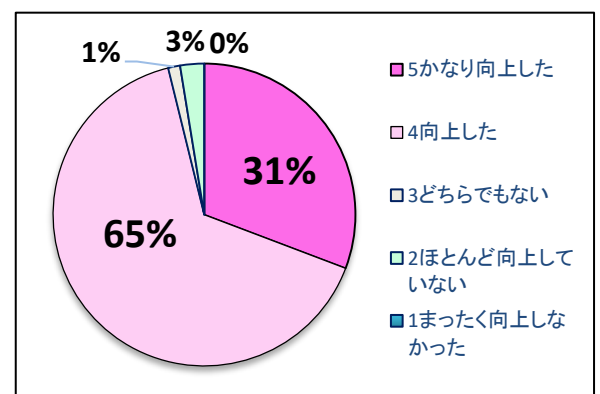
実習内容

7/20 (火)	事前指導 (校内で実施) * 立山・植物に関する事前学習 * 諸注意
7 H 7/26 (月)	美女平 (1) ブナ林 * 植物群落の調査 * ブナ林の樹木の生存戦略 * コケと積雪深 (2) タテヤマスギ * 伏条更新・葉の感触 * 樹形と積雪深 * 成長量 (3) 鳥の種類と山の高さの関係
6 H 7/28 (水)	弥陀ヶ原 * 池塘観察 * オオシラビソ<偏形樹(旗形樹形)と風向の関係> 室堂 * 高山植物調査 * ハイマツの成長量 * 雷鳥の観察
7/29 (木)	事後学習 (校内で実施) * レポート (ポスター) 作成

実施後の感想・アンケート結果

- ・植物を観察するだけでその環境を読み取れたり、環境に適応する植物を観察したりすることに興味をもった。今まではただ“見る”だけであったが、今度からは“観察”していきたい。(多数)
- ・注意深く観察すると新たな疑問が生じたり、発見できたりした。それらが新鮮で、見る世界が変わったように感じた。(複数)
- ・多面的に観察することの重要性和難しさを認識した。観察していたときは完璧なデータのように思っていたが、分析してまとめる段階になって、もっと周囲を観察しておけばよかったと思った。
- ・雷鳥の雄も雌も見ることができ、幸運だった。

Q. 実習を通して、観察力は向上しましたか。



ご指導・ご尽力いただいたナチュラルリストの志村先生、水野先生、日下先生、江本先生に感謝申し上げます。

